

山陽小野田市民病院だより

2017年 冬号

〒756-0094 山陽小野田市大字東高泊 1863 番地 1

TEL (0836)83-2355 FAX (0836)83-0377

E-mail : med-soumu@city.sanyo-onoda.lg.jp

ホームページ : <http://sanyo-onoda-city-hosp.jp/>

No.6



あさひ保育園の子どもたち（市民病院4階 エレベーターホール）

病院の理念

誠実

公正

連携

基本方針

親しみやすく、思いやりのある医療を誠実にを行います。

全人的かつ専門的で、良質な医療を行います。

患者さんの気持ちと権利を尊重し、心温かい療養環境を提供します。

市民病院としての使命を自覚し、患者さんのニーズに適切にお応えします。

保健・医療・福祉・介護の連携を推進します。

新年を迎えて

山陽小野田市病院事業管理者 河合伸也

新年明けまして おめでとうございます



今年は、酉年です。「とり」と言えば、一般に鳥、鶏を思い浮かべますが、酉の字を活用する機会が少ないとはいえ、「酉の市」等として用いられています。酉の日には、縁起の熊手を購入して、運を「取り込む」、福を「はき込む」ことで、開運招福、商売繁盛を願うそうです。いずれにしても、酉年は縁起の良い年です。

人によっては、確かに「おめでたく、縁起が良い年」であろうと思いますし、そうであって欲しいと願っています。

私も例年この時期になると、「明けまして、おめでとうございます」と挨拶しています。ただ、率直なところ、「何がおめでたい」のか、分かっていないのです。縁起が良いのであれば、それは有難いのですが、新年を迎えて、年を重ねたと言われても、今更、あまり嬉しくはないのです。

ですが、「しきたり」、「きまり」や「儀式」は、決して無視できず、非常に大切です。とにかく、だらだらと、マンネリに陥りがちになりますが、この機会を利用して、気持ちを引き締め、自分の生活や人生にメリハリをつけ、「けじめ」や「覚悟」を新たにしていける慣習や文化を大切にすることが重要なのです。常に現状に満足せず、昨年に比較して、自分をさらに高めていこうと決意して、その契機に実践・実行に結びつけることが、非常に望ましいのです。

私達は病院スタッフの一員であり、医療従事者です。自分が思っているよりも崇高であることが期待されています。それだけに、常に謙虚であることも欠かせないのです。平素から「Noblesse Oblige ノブレス・オブリージュ(高貴なる責務)」を心掛けることが必要です。すなわち、それなりの人達にはそれなりの責務(倫理観や義務感など)が求められています。病院のスタッフは、少なくとも病弱者から見ると、高い倫理観や傾聴的センスを持って活躍して欲しいと期待されています。医療に従事していることは、そのような立場にあることを謙虚に自覚することも大切です。

とはいえ、私達も人間です。いつも緊張感を持ち続けることは難しいこともあります。オンとオフを適切に切り替えて、長続きできる上手なプロになって欲しいと願っています。そのためには、日頃から、仕事・休養・睡眠・栄養のバランスをとり、物事を常にプラス思考する習慣が欠かせないのです。

この1年も、皆さんには、それぞれに目標があると思います。その目標に向かって、健康的に・有意義にご活躍されますことを切に祈念しています。



部署紹介 薬局

医薬品の調剤業務のほか、1400 以上にも及ぶ採用薬の品質管理、有効期限チェックをしつつ安定供給に努めています。また、注射薬の混合無菌調製、持参薬の鑑別業務や医薬品の正しい使用方法に関する情報提供も行っています。新病院への移転と同時に一新された電子カルテに加え、今年は抗がん剤治療をスムーズに行うために電子カルテに化学療法専用プログラムを導入しました。また、災害派遣医療チームへの参加など新たな業務への展開を通じて地域に根ざした薬剤師を目指しています。



新たな取り組み

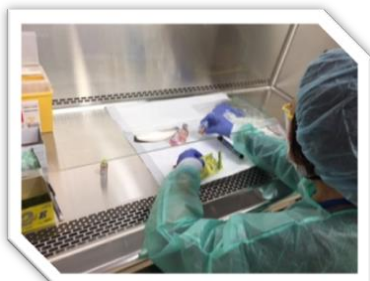
入院患者様への服薬指導業務に力を入れています

院外処方箋の発行に伴って薬局業務は入院患者中心へと移行しました。従来の調剤に加えて病棟での服薬指導が中心になっていきます。これからの薬剤師業務は物から人へとシフトしていきつつあります。



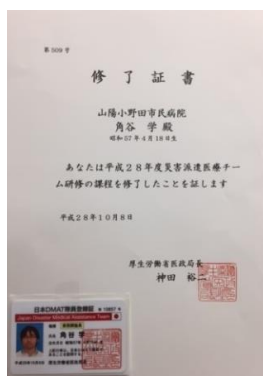
化学療法への取り組み

外来化学療法の稼働に伴い薬剤師スタッフが配置されました。薬剤師による指導、副作用発現のチェックなどきめ細かい指導を行います。また、全排気システムの最新鋭の安全キャビネットが導入されており、これにより無菌かつ安全に抗がん剤の調製を行うことができます。



薬学部実習生の受け入れ

山陽小野田市は、平成 30 年 4 月に県内待望の薬学部が新設されることになっています。市民病院であることを忘れず、この薬局で未来の薬剤師を多数育成していかなければなりません。可能な限り学生の実習を受け入れることのできる体制作りをしています。



災害派遣医療チーム

今後の活動が期待される災害派遣医療チームに 1 名送り出します。現地では薬以外にも通信業務なども任されます。

部

署

紹

介

腎・透析センター

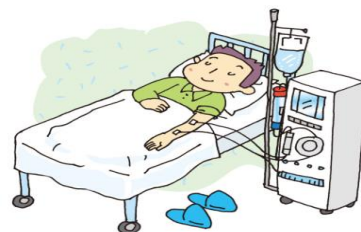
腎・透析センターでは、24（多人数用 23・個人用 1）の治療用ベッドを有し、急性腎不全や慢性腎不全で透析治療を必要とする方に、血液透析を行っています。

また、地域の医療施設で維持透析中の方が、当院での手術や入院治療を必要とする場合などの受け入れを行い、急性期病院としての機能を果たすよう努めています。良質な透析治療を提供するため、多職種がそれぞれの役割と専門性を発揮し、連携を密にして協働して

時間や食事・水分などの制限がある透析治療ですが、患者さんが生活をより豊かに過ごして頂けるよう、日々の関わりを大切にし、患者さんと思っています。



ノアザミ



腎・透析センター 看

小さな変化を見逃さないように情報を共有

健康状態を維持して透析生活を送る上で重要なのは、患者さんの自己管理する力を引き出すことです。透析患者さんは薬の管理や体重・食事などの管理が必要で、食事制限や水分制限など、患者さん自身が健康を維持するための行動をとれるように支援していきます。しかし、長い透析生活の中では前向きに過ごせない場合もあります。患者さん又はご家族が記入される自己管理手帳や、患者さんとの会話や表情、透析の経過などの多面的な情報から、患者さんの体調や心の変化を見極め、スタッフで情報共有し、その時々適切な医療・看護へ繋がるように努めています。

近年では透析患者さんの高齢化もみられます。介護者であるご家族への精神的支援や、介護における社会資源の活用提案など、今後ますます多職種でのチーム医療が求められます。患者さんにとって、今何が必要かを常に考え、チームで取り組んでまいります。

日々の看護



泌尿器科医師

全員参加のミーティングで情報共有

毎日の回診の様子



中学生職場体験

看護部長 藤谷圭子

毎年、秋から冬にかけて山陽小野田市と宇部市から中学2年生の生徒さんが職場体験に来られます。

「総合的な学習の時間」の一環として、社会で実際に働くことを体験し、働くことの意義や厳しさ、楽しさを学ぶことを目的にしています。当院に来られる生徒さんは、看護師をはじめ、医師、薬剤師、理学療法士等々、病院の中で働く様々な職業を体験してみたいと希望されています。とは言え、初めて見る器械に驚き、緊張いっぱいの生徒さん達です。途中少し休憩が必要な時もありますが、皆さん一生懸命取り組まれています。看護師と一緒に動けない患者さんの足浴をした時、患者さんの「ありがとう」の言葉に「心が熱くなった。看護師になりたい。」と看護の心を実感した生徒さん。また、多くの部署を見学し「病院はいろいろな部署が連携して成り立っていることを学んだ。患者さんの気持ちになって寄り添って診察することが大切だとわかった。」と語る生徒さんもいます。短い時間ですが中学生の皆さんの「生きる力」を育成する一助になれば幸いです。山陽小野田市民病院は中学生の皆さんを応援しています。



医療安全研修

「安全な介助法」



医療安全委員会では、年2回の院内全体の研修を行っています。

今回はコメディカルスタッフの要望や、職員の入れ替えもあり、以前好評だった「移乗」について再度行うことにしました。また、全員参加を目指して8月と10月の2回同じものを実施しました。実技を見ること、参加し体験できることを目的とし、講師は理学療法士の砥上知幸さんにお願ひしました。

重力や重心をどこに持っていくことが良いのかを、様々な写真や日常の中での動作で示していただきました。また、テレビの「ためしてガッテン」での放送を録画で見せていただき、体の中での膝の使い方がとてもポイントであることも示していただきました。患者だけでなく、介助の必要な人はどこかに障害を持っていますが、その中で安全に、安心して移動をしてもらえるようにすることが必要です。そして、介助する医療従事者の負担を軽減することも大切で、ポイントを指導していただきました。きっと、現場で生かさせていただけると日常の業務が安全でスムーズになるのではないかと思います。だれもが研修に参加でき、より安全になることを考えてこれからの研修内容も考えていきたいと思っています。



実際に体験することや見学しやすいように
会場のレイアウトを変えています。



8月24日 10月26日開催

ご寄付ありがとうございます



11月28日に西村隆様、美代子様ご夫妻より、今年迎えられた結婚50周年の金婚式を記念し50万円の寄付をいただきました。いただいた寄付金は救急カートの購入資金に充てさせていただきます。西村様ご夫妻は2014年10月にも内科外来待合ロビーにある置き時計を寄贈いただいております。ありがとうございました。

表紙の写真

～あさひ保育園より～



当保育園では、四季をふまえた制作や行事を大切にしています。今回は、病院のご厚意により4階のエレベーターホールに工作进行を展示させていただきました。写真は、ハロウィンの仮装に挑戦したときのものです。子供たちは、大変喜んでいました。ありがとうございました。これからも、市民病院の皆様や地域の方々と交流をもち、愛される保育園であり続けたいと思います。よろしくお願いいたします。

あさひ保育園 主任 神代智子

地域医療連携室

地域医療連携室では、各医療機関から患者様の診療予約・検査予約をお受け致しております。

予約が必要な場合は、診療予約申込書・検査予約申込書をFAXでご連絡ください。折り返し予約票をFAXにてお返事させていただきます。

なお、緊急時の場合には地域医療連携室へ直接電話でご連絡ください。

*** 受付時間: 平日 8:30～17:00**

*** T E L: 0836-83-2355(代)**

*** F A X: 0836-83-8666(直)**



山陽小野田市民病院診療日程表

平成 28 年 1 月 1 日 現在

		月	火	水	木	金
内 科	一 診	豊重充広	豊重充広	☆有好香子	豊重充広	
	二 診				☆田中真由美 (午 前) ☆山崎隆弘 (午後・肝臓外来)	山口大学医師 (午 前)
	三 診	時山 裕	田邊規和	時山 裕	時山 裕	田邊規和
	四 診	☆石口博智 (午 前)	☆河村 篤	文本朋子	厚東由里佳	☆河村 篤 (午 前)
	五 診	小林正和	文本朋子	小林正和	小林正和	文本朋子
外 科	一 診	大楽耕司	藤岡顕太郎	大楽耕司	藤岡顕太郎	藤岡顕太郎
	二 診 8:30 - 9:00 11:00 - 11:30	藤岡顕太郎	尼崎陽太郎	尼崎陽太郎	大楽耕司	尼崎陽太郎
整形外科	一 診	脇阪敦彦	河合伸也 (新 患)	河合伸也	脇阪敦彦 (新 患)	前田 崇 (新 患)
	二 診	金子 昇 (新 患)	金子 昇	脇阪敦彦	前田 崇	金子 昇
	三 診		前田 崇	☆柿並康太郎		
脳神経外科	一 診	☆山口大学医師 (紹介・再診のみ)		☆岡 史朗 (紹介・再診のみ)		
小 児 科 (乳児検診・ 予防接種：予約制)	午 前 (受付時間) 9:00 - 11:00	☆岡崎史子	☆木村 献	☆福田 謙	☆水谷 誠 (☆中村圭李)	☆松重武志 ☆楠田 剛 (交互での診察)
	午 後 (受付時間) 13:30 - 15:30	☆鈴木康夫 ☆長谷川俊史 (交互での診察)				☆三宅晶子
産婦人科	新患・婦人科	住浪義則	平野恵美子	藤田麻美	住浪義則	住浪義則
	産 科	平野恵美子	藤田麻美	住浪義則	藤田麻美	平野恵美子
	午 後 (予約のみ)	藤田麻美 14:00 - 16:00			平野恵美子 14:00 - 15:00	
皮 膚 科	一 診			☆浅野伸幸		
眼 科	午 前	☆木村和博	徳久佳代子	徳久佳代子		徳久佳代子
	午 後 (受付時間) 13:00 - 15:00				☆小林正明	
耳鼻咽喉科	午 後 (受付時間) 14:00 - 16:00	☆橋本智子		☆橋本 誠	☆田原哲也 (第1・3)	☆菅原一真
泌尿器科	一 診	瀧原博史	栗林智枝子	山口大学医師 (午 前)	北原誠司 (新患)	北原誠司
	二 診				瀧原博史 (再来)	
麻酔科	疼痛外来	山本智久	山本智久	清島 隆	内田雅人	山本智久
	術前診察	清島 隆	清島 隆	内田雅人	清島 隆	内田雅人
歯科口腔外科 (予約優先)	(新患受付時間) 8:30 - 11:00	福田てる代	福田てる代	福田てる代 ☆梅田浩嗣	福田てる代	福田てる代
	14:00 - 15:00	福田てる代	福田てる代	☆真野隆充 (手術患者のみ)	福田てる代	福田てる代
神経内科 完全紹介予約制	午 後				☆佐野泰照	
禁煙外来 完全予約制	午 後	篠崎文彦				

☆非常勤医師